

序

本書は、「患者のためのやさしい心電図の見方」のタイトルで出版された書籍を、新しい治療法を含めて改訂したものです。患者さんにもわかる内容でという意図で作成された前書が、医家を含めて意外に医療関係の方々に読まれたことを踏まえ、あらゆる層の方々を対象とした“やさしい心電図の見方”に最近の治療の解説を加えて本書が完成しました。

私が日本大学医学部の講師の時代に、CCU (coronary care unit) 室長だった齋藤 穎先生や当時の第二内科の心臓研究班の仲間たちと近隣の先生方とともに立ち上げた、心臓病に関するカンファレンスがあります。その会はスポンサーのサポートにより、私の助教授・教授時代から更に定年退職後の、現循環器内科の平山 篤志教授時代にいたるまで連続 110 回を超える歴史があり、その中で心電図を中心とした症例検討やショートレクチャーが実地医家の先生方に好評でした。当時無給助手だった若手医師たちも第一線の医家になり、あるいは准教授や教授に昇格し、それぞれの分野で活躍しています。

こうした長い歴史の中で心臓病の診断や治療法には大きな変遷と進歩がみられ、その時代を反映する代表的な先生方の講演を聞くことが出来るようになりましたが、実地医家の先生方の心電図に関する関心は決して低下していないように感じています。それは、心電図が大きな、あるいは高価な装置ではなく、誰でも使用できる心臓の基本的な検査であると同時に、不整脈を代表とする心臓の電気現象を把握できる検査として重要な位置にあるからです。

本書は心臓病の種々の専門分野で活躍しながら、その臨床の中で心電図をも大切に考え、共に勉強してきた素晴らしい仲間たちと一緒に作り上げたものです。そして高度な最新技術を駆使した現在の日本大学医学部循環器内科の素晴らしい発展を指導している平山 篤志教授が、心電図をも大切にする優れた臨床的センスのあるリーダーであることが何よりも嬉しいことです。

本書が心臓の臨床に興味のある、あらゆる分野の方々のお役に立つことを心から願っております。

2013 年 3 月

編者を代表して
小沢 友紀雄

編者・執筆者一覧

編者

おざわ ゆきお
小沢友紀雄

MJG 心血管研究所所長

さいとう さとし
齋藤 穎

医療法人社団博鳳会敬愛病院理事長 /

日本大学医学部内科学系先端心血管画像解析分野特任教授

ひらやま あつし
平山 篤志

日本大学医学部内科学系循環器内科学分野主任教授

執筆者(執筆順)

おざわ ゆきお
小沢友紀雄

MJG 心血管研究所所長

ひらやま あつし
平山 篤志

日本大学医学部内科学系循環器内科学分野主任教授

しまぶくろ ひろあき
島袋 宏明

日本大学医学部附属板橋病院臨床検査部

かさまき ゆうじ
笠巻 祐二

日本大学医学部内科学系総合内科学分野准教授

さいとう さとし
齋藤 穎

医療法人社団博鳳会敬愛病院理事長 /

日本大学医学部内科学系先端心血管画像解析分野特任教授

もりうち まさと
森内 正人

元日本大学医学部附属板橋病院循環器内科(物故)

たかやま ただてる
高山 忠輝

日本大学医学部内科学系循環器内科分野助教

こまき こういち
小牧 宏一

埼玉県立大学教授 /
日本大学医学部内科学系循環器内科学分野客員教授

おおた まさかつ
太田 昌克

日本大学医学部附属板橋病院循環器内科助手

こじま としあき
小島 利明

赤心堂病院循環器科部長

おくむら やすお
奥村 恭男

日本大学医学部附属板橋病院循環器内科

ひろ たかふみ
廣 高史

日本大学医学部内科学系循環器内科学分野准教授

わたなべ いちろう
渡邊 一郎

日本大学医学部内科学系循環器内科学分野教授

かんだ あきひろ
神田 章弘

神田内科医院院長

かじ た じゅんいちろう
梶田 潤一郎

日本大学医学部内科学系循環器内科学分野

くにもと さとし
國本 聡

日本大学医学部附属板橋病院循環器内科助教・教育医長

たかいわ よしあき
高岩 良明

高岩内科医院院長